

# 第83期 (中間期)

# 株主通信

2018年4月1日～2018年9月30日

自然と健康を科学する



株主の皆様へ P1

事業概況 P2

特集: 創業125年の想い P5

中国ビジネス P7

ESG(環境・社会・ガバナンス) P8

連結財務諸表 P9

会社の概要/株式の状況 P10

## 長期経営ビジョン

～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する  
価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ

“人”のツムラ

“グローバル・ニッチ”のTSUMURA

 株式会社ツムラ

証券コード：4540



## 創業125周年を迎えて

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第83期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況および決算の状況などにつきましてご報告を申し上げます。

当社は、おかげさまで本年4月10日、創業125周年を迎えることができました。創業まもなくして、漢方の存続が危ぶまれるなど、幾多の困難に直面してきましたが、一貫して漢方医学の普及・発展に努めてまいり、1976年に当社の医療用

漢方製剤は、初めて国の薬価基準に収載されました。

現在は、「漢方医学の確立」を成し遂げるため、中期経営計画の戦略課題として、「漢方市場の拡大と安定成長」に取り組むと同時に、理念に基づく経営を実践し、長期経営ビジョン～2021年ビジョン～の実現により、“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指しております。創業者の信念である「良薬は必ず(人のお役に、そして社会のお役に立ち)売れる」という創業の精神は、経営理念や企業使命に受け継がれております。

漢方・医薬品業界を取り巻く環境が厳しさを増しつつある昨今ではございますが、役職員一同、国民の健康と医療に、なお一層貢献できますよう、専心努力いたす所存でございます。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

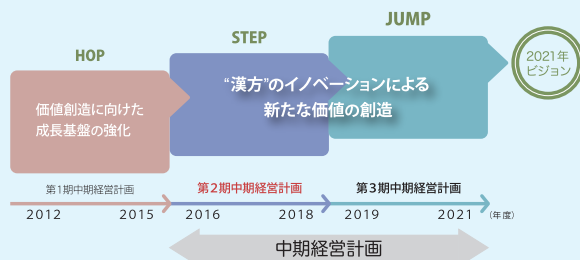
代表取締役社長 加藤 照和

現在、第2期中期経営計画を実行しており、「漢方」のイノベーションによる新たな価値の創造」をテーマに取り組んでおります。第2期中期経営計画における戦略課題は、次の3つです。

1. 漢方市場の拡大と安定成長
2. 収益力の継続強化とキャッシュ・フローの最大化
3. 中国における新規ビジネスへの挑戦

2018年度は、第2期の最終年度にあたります。

### ■ 長期経営ビジョン実現へのロードマップ



## 経営方針

当社グループは、追い求めていくべき不変の基本的価値観である「自然と健康を科学する」という経営理念と、社会から必要とされ存在し続ける目的である「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」という企業使命を基本的な理念と位置づけ、理念に基づく経営を実践すべく、諸施策に取り組んでいます。

## 業績の概要

### ● 連結業績

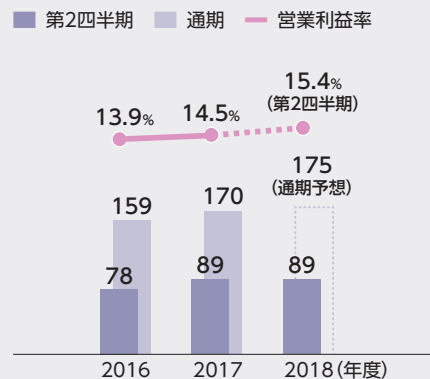
当第2四半期連結累計期間の売上高は、本年4月に実施された薬価改定による影響を受け、前年同期に比べ14百万円減少し、58,268百万円となりました。

利益につきましては、営業利益8,950百万円(前年同期比0.4%減)、経常利益9,566百万円(前年同期比3.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,082百万円(前年同期比7.1%増)となりました。売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬関連コストの低減等で吸収し、前年同期に比べ1.5ポイント低下しました。一方、販管費率は1.5ポイント上昇し、これらの結果として、営業利益率は前年同期と同じ、15.4%となりました。

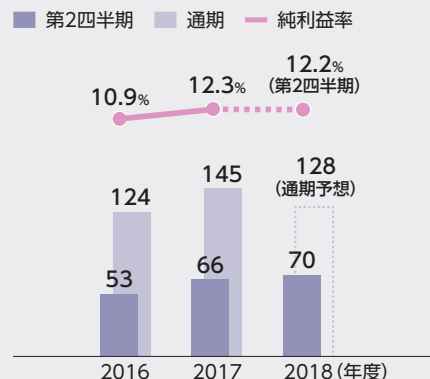
売上高(億円)



営業利益(億円)



親会社株主に帰属する四半期純利益(億円)



## 医療用漢方製剤の概況

医療用漢方製剤の営業施策としては、「高齢者関連領域」「がん領域(支持療法)」「女性関連領域」を重点3領域として活動を集中させてきました。従来からの育薬5処方\*1と、それに続く戦略処方であるGrowing5処方\*2を中心に、重点領域において多くの患者様の健康に貢献できるよう、医療関係者の多様なニーズに対応し、基礎・臨床エビデンス、漢方掲載の診療ガイドライン、漢方医学的な処方の使い分け等に関する適切な情報提供活動を実施しています。

### 医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

順位	処方番号	処方名	前第2四半期 (2017年度)	当第2四半期 (2018年度)	増減額	前年同期比
1	100	ダイケンチュウトウ 大建中湯	5,351	5,226	△ 125	△2.3%
2	54	ヨクカンサン 抑肝散	3,864	3,848	△ 16	△0.4%
3	41	ホチュウエッキトウ 補中益気湯	3,699	3,680	△ 18	△0.5%
4	43	リップンシトウ 六君子湯	3,577	3,559	△ 18	△0.5%
5	68	シャクヤクカンゾウトウ 芍薬甘草湯	2,660	2,629	△ 30	△1.2%
6	24	カミショウヨウサン 加味逍遙散	2,342	2,263	△ 79	△3.4%
7	17	ゴレイサン 五苓散	1,921	2,112	190	9.9%
8	29	バクモンドウトウ 麦門冬湯	2,002	2,004	1	0.1%
9	107	ゴシャジンキガン 牛車腎気丸	1,889	1,806	△ 82	△4.4%
10	114	サイレイトウ 柴苓湯	1,812	1,793	△ 18	△1.0%
医療用漢方製剤129処方合計			55,784	55,799	14	0.0%

\*1 育薬5処方: 大建中湯・抑肝散・六君子湯・牛車腎気丸・半夏瀉心湯  
近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス(科学的根拠)を確立することを「育薬」と名付け、取り組んでいる処方

\*2 Growing5処方: 補中益気湯・芍薬甘草湯・麦門冬湯・加味逍遙散・五苓散  
育薬5処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築(安全性・有効性データ等)により診療ガイドライン掲載を目指す成長ドライバー

## エビデンスの確立

当社では、2016年度から以下の5処方を「Growing処方」と設定しました。2004年度から始まった育薬5処方と合わせ、計10処方について、集中的にエビデンスの構築を進めています。

### ■Growing5処方の売上高(ご参考)

(単位:百万円)

	Growing処方	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
41	ホチュウエキトウ 補中益気湯	6,883	6,965	6,968	6,947	7,098
68	シャクヤクカンゾウトウ 芍薬甘草湯	4,179	4,440	4,688	4,853	5,031
29	バクモンドウトウ 麦門冬湯	3,996	4,178	4,494	4,511	4,511
24	カミショウヨウサン 加味逍遙散	4,264	4,285	4,465	4,465	4,534
17	ゴレイサン 五苓散	2,438	2,719	3,082	3,363	3,722

## エビデンスの充実

育薬5処方およびGrowing5処方については、臨床的エビデンス・作用機序の解明・副作用発現頻度調査・薬物動態・医療経済学的データの収集の5つの項目をそろえることを「パッケージ」化とし、それらの充実に力を入れています。さらに、エビデンス集積の結果として、診療ガイドラインに漢方処方が掲載されることを目指しています。

# “想い”を受け継ぎ、 「漢方」で社会に貢献

1893(明治26)年、「津村順天堂」として東京・日本橋に店舗を構えた当社は、今年、創業125周年を迎えました。「良薬は必ず売れる」という創業者の想いを受け継ぎ、今、当社グループは永続的な成長を期した、理念経営を実践しています。

### 創業者の想い 「良薬は必ず売れる」

1893(明治26)年、初代津村重舎は「良薬は必ず売れる」との信念のもと、当社の前身「津村順天堂」を創業し、家伝の婦人薬である生薬製剤「中将湯」の販売を開始しました。中将湯は薬効の確かさに加えて、革新的な宣伝・販売方法も奏功して評判となりました。そして、1919(大正8)年に目黒工場を建設。1936(昭和11)年には株式会社化し、さらなる発展を企図しました。

事業拡大の一方、初代重舎は「漢方の復権」を願っていました。1923(大正12)年の欧米視察を契機に、和漢薬の研究に本格的に取り組めます。翌年、生薬の研究所「津村研究所」、薬用植物園「津村薬草園」を相次いで開設。生薬を栽培して得た薬剤を成分分析し、そこから薬理作用を解明する。こうして初代重舎は、漢方の近代化へのレールを敷いたのです。



### 大きな一歩 中将湯と入浴剤

#### 当社を支えた2大商品

中将湯は、初代重舎の母方の実家に伝わる婦人薬です。創業以来125年の時を経て、現在もなお当社のロングセラー商品として親しまれていますが、商品化する際、初代重舎は家伝の処方に革新的な改良を加えました。それは、「虚実」を合方するというものです。漢方では通常、虚証(体力がなく弱々しい感じの人)と実証(体力や抵抗力が充実している人)を区別して薬を処方しますが、虚証の人でも実証の人でも服用できる薬として販売したのです。

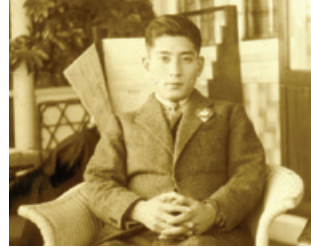
また、津村順天堂の看板商品となった入浴剤は、中将湯に原点があります。中将湯を製造する際に出る生薬の粉や切れ端を湯船に入れると体が温まることがヒントとなり、1897(明治30)年に生まれたのが「浴剤中将湯」です。これらの製品から新たな入浴剤が開発され、現在の「バスハーブ」に受け継がれています。



## 2代目の想い

「漢方は“非科学的”ではなく“未科学的”である。  
医学の進歩と科学技術の進展があれば、  
漢方の科学的な解明は必ず進む」

初代重舎に代わって社長に就任した2代目重舎は、初代の「良薬は必ず売れる」という信念と「漢方の復権」という想いを受け継ぎ、当社のかじ取りを担っていきました。科学的に漢方を解明し、その良さを世間に広めることで社会に貢献する。そのために2代目重舎は、漢方診療所の開設をはじめ、様々な科学的な取り組みを進めました。



何よりも漢方の復権を後押ししたのは、医療用漢方製剤の開発です。当社の漢方製剤の本格的な開発は1968(昭和43)年に始まりました。1974(昭和49)年には医療用として29処方の販売を開始しています。その2年後、1976(昭和51)年に、当社の漢方製剤はついに薬価基準に収載され、健康保険が適用されることとなりました。ここに、初代・2代目重舎の念願だった漢方の復権がなされたのです。このとき当社の医療用漢方製剤は33処方が薬価基準に収載されました。

## 大きな一歩 漢方診療所の開設

### 薬理の確立と漢方医学の実践

第二次大戦で焼け落ちた当社の本社は、1952(昭和27)年、「中将湯ビル」として蘇りました。「漢方診療所」は、1957(昭和32)年にこの中将湯ビル内に設置されました。診療所の役割は、診療はもちろん、臨床データが集められる点にも着目していました。明確な薬効データの統計がそろえば、漢方薬が理論的にも認められることとなります。

初代重舎が開設した津村薬草園で生薬を栽培して薬剤を得て、津村研究所で分析して薬理を確立する。そして、2代目重舎が開いた診療所で漢方医学の処方を実践するわけです。診療所の開設は、のちの漢方の薬価基準収載「漢方の復権」に向けた、まさに大きな一歩となったのです。



## 想いを受け継いだ、 理念に基づく経営

### 経営理念

自然と健康と科学を

### 企業使命

漢方医学と西洋医学の融合により  
世界で類のない  
最高の医療提供に貢献します

長きにわたって存続し、繁栄している会社に共通するのは、しっかりとした理念があり、その理念が根付いている点です。当社の諸先輩方は「良薬は必ず(人のお役に、そして社会のお役に立ち)売れる」との信念のもと、数々の良質な漢方薬を生み出し、その普及と発展を通して、社会への貢献を果たしてきました。現在、当社は、そうした先人方の想いを経営理念「自然と健康を科学する」と、企業使命「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」に込め、これらを基本理念とした経営を実践しています。

# 中国ビジネス

当社は、中期経営計画の戦略課題である「中国における新規ビジネスへの挑戦」の具体策として、2016年度から中国市場への本格的な参入に向けた取り組みを進めています。

中国事業は、当社グループが長年にわたって原料生薬調達の恩恵を受けてきた中国と中国の人々の健康へ貢献していきたいという思いとともに、生薬の安定確保を目的として始めた事業です。

現在、各事業を進めていくための合併会社の設立、中成薬、刻み生薬、中薬配合顆粒など、中国向け製品の生産に向けた研究開発などに取り組んでいます。

## ●設立状況

### 津村盛実 (天津)

(2018年3月設立)

- 漢方エキス粉末の製造、販売
- 中成薬の製造、販売

### 上海上薬津村 (上海)

(2016年5月設立)

- 中薬配合顆粒の研究開発、製造、販売

### 平安津村 (深圳)

(2018年6月設立)

- 生薬調達体制の強化に関する事業
- 中薬を主とした分析研究に関する事業
- 中薬、健康食品、ヘルスケアに関する事業

### 上海津村 (上海)

(2001年7月設立)

- 漢方エキス粉末の製造、販売

### 深圳津村 (深圳)

(1991年3月設立)

- 原料生薬、飲片(刻み生薬)の調達、選別加工、保管



株式会社 **ツムラ**

品質・技術・情報

100年を超え、培われてきた高度な生産技術、分析技術を基に高品質な漢方薬を製造・販売



**中国平安 PINGAN**

金融・ITの総合力  
規模、認知度

金融・ITの総合力、中国国内での確固たる存在感、販売ネットワークなど(個人顧客1.66億人、ネット利用者4.36億人(2017年末))

当社は、中国ビジネスの事業パートナーとして、2017年9月、中国四大上場保険会社の一つである中国平安保険(集団)股份有限公司(以下、中国平安保険)と業務提携しました。この提携により、中薬の品質標準および生薬栽培から最終製品までを網羅するビジネスモデルを構築でき、同時に、中国国内の生薬の品質向上や生薬資源保護を通じて将来にわたり、原料生薬の安定確保を実現できるものと考えています。

中国平安保険の医療健康管理プラットフォームである「平安好医生」は、約2.2億人の利用者と数万人の提携医師を擁する中国最大のインターネット医療サイトです(2018年6月末時点)。その販路を活用できることは提携の最大のメリットとなっています。



# ESG (環境・社会・ガバナンス)

当社は本業である「漢方・生薬事業」を通じて、持続的な社会の形成と長期的な企業の成長のための視点であるESG(環境・社会・ガバナンス)を重視した経営を実践しています。また国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成へも、幅広く貢献していきたいと考えています。

## 環境 Environment

生薬資源・自然環境の保護、野生生薬の栽培化研究、循環型社会の実現への貢献、ゼロエミッション維持

## 社会 Social

生薬栽培による1次産業の活性化への貢献、高齢者・障がい者の雇用機会の創出

## ガバナンス Governance

実効性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築と運用、株主・投資家との対話

## コーポレート・ガバナンス

当社取締役の構成メンバーは、取締役9名の内、過半数にあたる5名が社外取締役となります。監査等委員である取締役は、常勤1名、社外2名の3名で構成されており、社外取締役である監査等委員が取締役会の議決権を保有することで取締役会の監督機能を強化し、経営の健全性と透明性をより一層向上させることを目指しています。今後も当社は「自然と健康を科学する」という経営理念のもと“持続的な成長と中長期的な企業価値の向上”を図るため、継続的なコーポレート・ガバナンス体制の強化を図っていきます。



(後列左より)

取締役 常勤監査等委員 大河内 公一	社外取締役 監査等委員 松本 満俊	取締役 上席執行役員 藤 康範	代表取締役社長 社長執行役員 加藤 照和	取締役 常務執行役員 安達 晋	社外取締役 すまもと じげる 杉本 茂	社外取締役 みやび ひろし 三宅 博
--------------------------	-------------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	---------------------------	--------------------------

(前列左より)

社外取締役  
監査等委員  
羽石 清美

社外取締役  
まつい けんいち  
松井 憲一

## 執行役員

社長執行役員*	かとう てるかず 加藤 照和
常務執行役員*	あたら すずむ 安達 晋
常務執行役員	たかきき りゅうじ 高崎 隆次
常務執行役員	とだ こういん 戸田 光胤
上席執行役員*	ふじ やすのり 藤 康範
執行役員	むらた りょういち 村田 亮市
執行役員	うすい きぬとし 碓井 公利
執行役員	せきね たかし 関根 隆志
執行役員	すがわら しゅうじ 菅原 秀治
執行役員	きらだ ゆきのり 空田 幸徳

\*取締役を兼務する執行役員

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2018年3月31日現在)	当第2四半期末 (2018年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	190,888	<b>184,517</b>	△ 6,371
固定資産	101,491	<b>94,363</b>	△ 7,128
有形固定資産	71,329	<b>71,015</b>	△ 313
無形固定資産	526	<b>682</b>	155
投資その他の資産	29,634	<b>22,664</b>	△ 6,970
資産合計	292,379	<b>278,880</b>	△ 13,499
負債の部			
流動負債	48,766	<b>29,922</b>	△ 18,843
固定負債	47,080	<b>47,673</b>	592
負債合計	95,846	<b>77,596</b>	△ 18,250
純資産の部			
株主資本	183,396	<b>188,031</b>	4,635
その他の包括利益累計額	10,203	<b>10,241</b>	38
非支配株主持分	2,933	<b>3,010</b>	76
純資産合計	196,533	<b>201,283</b>	4,750
負債純資産合計	292,379	<b>278,880</b>	△ 13,499

Point  
1

「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度についても、当該会計基準等を通じて適用し、表示を組替えています。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	増減
売上高	58,282	<b>58,268</b>	△ 14
売上原価	24,404	<b>23,536</b>	△ 868
売上総利益	33,878	<b>34,732</b>	854
販売費及び一般管理費	24,893	<b>25,782</b>	889
営業利益	8,985	<b>8,950</b>	△ 35
営業外収益	524	<b>745</b>	220
営業外費用	261	<b>129</b>	△ 131
経常利益	9,248	<b>9,566</b>	317
特別利益	30	<b>325</b>	294
特別損失	40	<b>46</b>	5
税金等調整前四半期純利益	9,238	<b>9,844</b>	606
法人税等	2,469	<b>2,575</b>	105
非支配株主に帰属する 四半期純利益	153	<b>186</b>	32
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,614	<b>7,082</b>	468

Point  
2

薬価改定等の影響により売上高は減収、原価率は△1.5ポイント抑えられましたが、販管費は+8.8億円と増加し、営業利益は微減(△35百万円)となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,413	<b>4,479</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,011	<b>△ 4,534</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,317	<b>△ 17,523</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 181	<b>△ 720</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,538	<b>△ 18,299</b>
現金及び現金同等物の期首残高	29,901	<b>78,313</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,439	<b>60,014</b>

# 会社の概要／株式の状況 (2018年9月30日現在)

## 会社概要

本社	東京都港区赤坂二丁目17番11号
創業	1893年(明治26年)4月10日
設立	1936年(昭和11年)4月25日
資本金	301.42億円
従業員数	(単体)2,464名(就業人員数) (連結)3,504名(就業人員数)

## 連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	当社製品の運送及び保管
株式会社夕張ツムラ	当社原料生薬の栽培・調達・選別加工及び保管
津村(中国)有限公司	当社グループの中国における地域統括
深圳津村薬業有限公司	当社原料生薬の調達・選別加工及び保管
上海津村製薬有限公司	当社向け漢方エキス粉末の製造及び販売
平安津村有限公司	原料生薬の調達、健康食品・中成薬等の製造販売
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発

## 株式の状況

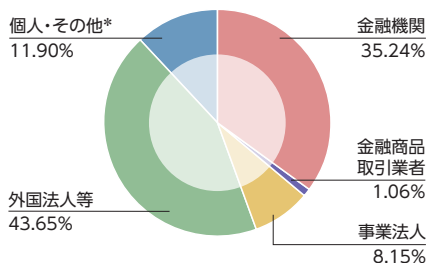
● 発行可能株式総数	250,000,000株
● 発行済株式の総数	76,758,362株 (自己株式 300,432株を含む)
● 株主数	11,500名

## 大株主の状況

株主名	持株数		持株比率 %
	千株		
BANK OF CHINA (HONG KONG) LIMITED -PING AN LIFE INSURANCE COMPANY OF CHINA, LIMITED	7,675		10.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,279		6.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,235		6.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,731		3.57
株式会社三菱UFJ銀行	2,197		2.87
THE BANK OF NEW YORK 133524	2,006		2.62
ツムラグループ従業員持株会	1,773		2.32
BRIGHT RIDE LIMITED	1,692		2.21
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,667		2.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,300		1.70

(注)持株比率は自己株式300,432株を控除して計算しています。

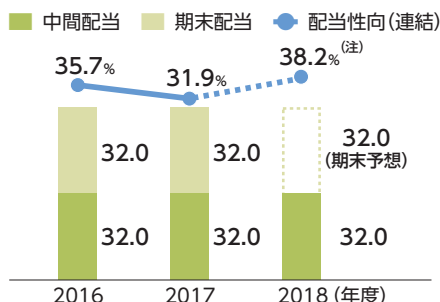
## 〈所有者別株式数分布状況〉



\*「個人・その他」には、自己株式300,432株を含めています

## 配当金

### 配当金の推移(円)



(注)2018年度の期末配当および配当性向については、第83回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載

当社では、株主還元につきましては、以下の方針としています

- “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- 中長期の利益水準やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、安定配当を実施する
- 最適資本構成の検討・見直しを踏まえた株主還元を努め、市場動向などを総合的に勘案したうえで、機動的な自社株式の取得を実施する

# ツムラIRウェブサイトのご案内

## ▼トップページ



### ▶「株主・投資家の皆さま」

最新のIR情報を掲載しています。

### メール配信サービス

最新IR情報をメールでお届けします。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm">https://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ● 株主優待制度

【保有年数継続3年以上】

### ◎入浴剤バスハーブ

- ・100株以上  
小(210ml)×1本
- ・1,000株以上  
大(650ml)×1本



### ◎ツムラ漢方記念館見学会ご招待(年数回)

- ・100株以上  
抽選で各40名様

詳細はQRコードからアクセスしてください。



## ホームページのご案内

<https://www.tsumura.co.jp/>

ツムラ

検索